

高松市立男木小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

心豊かで、たくましく生きる子どもの育成

【本校の課題】

- 少人数のため同学年の中で自分の力がどのくらいかを判断する比較対象が少なく、今の力からさらに上を目指そうという意欲が出にくい。
- 少人数のため、体育の時間や休み時間などで実施できる種目や遊びが限られる。

【現状】

昼休みには給食の片づけや歯磨きの時間等があり、十分に外遊びの時間が確保できていない児童もいるが、時間があるときは、元気よく運動場で遊んでいる姿が見られる。

体育の授業においては、少人数のため、集団対集団で競い合うことができず、得点やタイムで個人対個人の競争のみに終わってしまうことが多い。

【取組み】

リフレッシュタイムは運動場へ

児童生徒会を中心に週1回は全校生で外で遊ぶ日を設定する。小学校1年生から中学校3年生まで幅広い学年の児童生徒と一緒に遊び、楽しく運動する習慣を身につける。

縄跳び大会の実施

毎年、縄跳び大会を実施し、自分の得意な跳び方を披露したり、全員で長縄跳びに挑戦したりする。縄跳びがんばりカードを使って、最初に目標を設定する。目標に向かって体育の授業や昼休みなど、縄跳びの練習を計画的に行うようにする。

運動遊びの紹介

集会時に道具の遊び方や方法を紹介して興味づけを行う。ボールや竹馬や一輪車など、子どもたちが積極的に道具で遊ぶことができるようにする。



マラソン大会の実施

マラソン大会を実施し、大会に向けて体育の授業や昼休みの時間に練習する。目標の周回数を設定し、計画的に練習を行えるように支援する。教員も一緒に行く。



【目標】

- 体育の授業が好きと答える児童の割合を、100%にする。
- 運動をする習慣を身につけ、基礎体力を向上させることで、自分の体力に自信をもつたくましい児童生徒を育成する。